

# 平成24年度第2回市長定例記者会見

日時：平成24年6月4日（月）午後1時30分

場所：市役所4号棟第5会議室

## 【出席者】

市：市長、副市長、企画部長、広聴担当者

報道機関：IBC岩手放送、朝日新聞社、岩手日報社、岩手朝日テレビ、岩手めんこいテレビ、NHK、河北新報社、共同通信社、テレビ岩手、東海新報社、毎日新聞社、読売新聞社（50音順）

### 1 開会（企画部長）

本日はお越しいただきましてありがとうございます。今回は装いを新たに記者会見を行います。ただいまから、平成24年度第2回の市長定例記者会見を行います。

### 2 市長あいさつ

平成24年度の第2回の定例記者会見ということで、メディアの皆様には日頃よりたいへんお世話になっておりまして、感謝申し上げます。今日は6月定例会の説明が主になります。

### 3 会見項目

それでは、皆様方にお配りしております資料に基づいて、説明いたします。1ページの議会の会期でございまして、これはまだ議運が行われておりませんので、正式には決まっておりますが、一般質問は10人程度、3日間を予定しております。最終の本会議は6月21日の予定です。これは議会運営委員会で正式に決定します。

次に、議案ですが、報告第1号から6号までは、繰越明許費にかかる計算書です。まず、報告第1号についてであります。繰越を行う事業は37事業で、繰越の総額は、102億3,353万9千円となっております。

次に、報告第2号についてであります。下水道施設災害復旧事業の繰越で、繰越額は、7億6,326万2千円となっております。

次に、報告第3号についてであります。農業集落排水施設災害復旧事業の繰越で、繰越額は、1億7,749万円となっております。

次に、報告第4号についてであります。漁業集落排水施設災害復旧事業の繰越で、繰越額は、3億3,037万円となっております。

次に、報告第5号についてであります。事故繰越しを行う事業は5事業で、介護サービス施設の建設の繰越や、年度内の納品が困難となったこと、入札の不調によるもので、繰越の総額は、2億8,129万4千5百円となっております。

次に、報告第6号、平成23年度陸前高田市水道事業会計予算繰越計算書についてであります。市内配水管整備事業費で、高田町字大隅地内の配水管布設事業が完了に至らな

かったことによる繰越で、繰越額は、3,470万円となっております。

次に、議案第1号、岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議についてであります。住民基本台帳法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、岩手県後期高齢者医療広域連合規約の所要の整備をしようとして、提案するものでございます。これは、外国人登録に関して法律の改正があったことによるものでございます。

次に、議案第2号、陸前高田市印鑑条例の一部を改正する条例についてであります。住民基本台帳法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、所要の改正をしようとして提案するものでございます。

次に、議案第3号、陸前高田市市税条例の一部を改正する条例についてであります。地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、所要の改正をしようとして提案するものでございます。

次に、議案第4号、東日本大震災の被害者に対する市税の減免に関する条例の一部を改正する条例についてであります。東日本大震災の被害者に対し、平成24年度においても必要な減免を行うため、所要の改正をしようとして提案するものでございます。

次に、議案第5号、陸前高田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてであります。地方税法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、所要の改正をしようとして提案するものでございます。

次に、議案第6号、平成24年度陸前高田市一般会計補正予算（第1号）についてであります。東日本大震災の災害関連事業費、補助内示による事業費の増分等を計上しているところでございます。

歳入歳出予算の補正ですが、歳入歳出予算の総額に、それぞれ7億4,491万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ668億291万5千円とするものでございます。

次に、議案第7号、平成24年度陸前高田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）についてであります。災害復旧費を計上しているところでございます。

歳入歳出予算の補正ですが、歳入歳出予算の総額に、それぞれ2,970万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ23億8,559万2千円とするものでございます。

次に、議案第8号、平成24年度陸前高田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてであります。事業勘定においては保険税の還付金等を、診療施設勘定においては施設整備費等の補正を行っているものでございます。

歳入歳出予算の補正ですが、事業勘定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ584万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ28億5,217万5千円とするものでございます。

また、診療施設勘定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ188万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億265万円とするものでございます。これは、心電計の購入になります。

次に、議案第9号、平成24年度陸前高田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についてであります。保険料の還付に係る補正を行っているものでございます。

歳入歳出予算の補正ですが、歳入歳出予算の総額に、それぞれ1,339万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億9,424万3千円とするものでございます。

次に、議案第10号、平成24年度陸前高田市介護保険特別会計補正予算（第1号）についてありますが、人件費及び保険料の還付に係る補正を行っているものでございます。

歳入歳出予算の補正ですが、保険事業勘定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ1,371万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億2,217万8千円とするものでございます。

次に、6月の予定は、6月に海外の赤十字社が来訪する予定でございまして、6日水曜日の午後12時30分から、久保田副市長の講話を行いまして、午後1時40分から、滝の里工業団地で、ノルディック・ウォーキングを行います。

同日6日ですが、防災メモリアル公園誘致の署名をもって大臣あてに要望活動を行うということでございます。時間については調整中で、国土交通大臣に提出することになるかと思えます。

8日は、アメリカ・ユダヤ人共同配給委員会で義援金を持参していただくということで、この義援金は15万ドルと20万ドルで、15万ドルの方は、震災で孤児になった子どもたちに対する支援、学び基金に充て、20万ドルは学校の復興基金ということで、教育委員会と打ち合わせ中です。

また、同じ日になりますが、市議会の全員協議会で、名古屋市議会の議長が陸前高田市にお越しいただいて、ごあいさつをいただくことになっております。

9日の土曜日ですが、盛岡のメトロポリタンで、復興まちづくりフォーラムが行われますが、これは復興、防災メモリアル公園を誘致する活動の一環ということになります。こちらからは、以上でございます。

#### 4 質疑応答

（企画部長）

それでは、まず議会の関係について、質問等がございましたらお願いします。

（記者）

議案の報告第5号と議案第6号、いずれも繰越についてですが、この違いは何でしょうか。

（市長）

報告第5号の方は、当初繰越を予定していないもの、文字通り事故繰越ですが、具体的には福祉施設、介護施設の建設が震災によってできなくなったということ、また、消防費の中でも、全国同時期に発注が重なり、需要と供給のバランスが合わなくなり、納品ができなくなったこと。さらに、教育費ですが、米崎小学校のプール改修は入札が不調で、米崎中学校の屋根防水改修工事も、入札が不調ということになっております。

（企画部長）

ご質問がなければ、6月の行事について、ご質問をお願いします。

（記者）

ノルディック・ウォーキングは具体的に何を行うのでしょうか。

(市長)

エクササイズ、スキーのストックを持って歩くものでございます。赤十字の方々がいらっしゃるって、実際に仮設住宅で実演をするということになると思います。

(副市長)

仮設住宅に入居されている運動不足の方々に、いろいろ教えて、実践していただくということです。赤十字のプレスリリースによると、取材可ということです。

(記者)

6日の要望活動ですが、署名の数はいくらになるのでしょうか。また、8日の全員協議会の議題は何でしょうか。

(市長)

市内で1万3千、青年市長会から9千、最終的にいくつになるか分かりませんが、2万数千になろうかと思っています。

(企画部長)

復興交付金の国の査定の報告ということになります。

(記者)

補正予算ですが、主な内容は何でしょうか。

(市長)

Facebook を活用しようとしておりまして、額はそれほど多くはなく150万円ほどになります。また、横田小学校の学童保育、商工会の地域商品券に2分の1補助で、250万円ほど、観光案内所の設置などを考えています。さらに、この間の連休の大雨の災害復旧、農業、林業、土木さまざまな被害があります。

(記者)

Facebook はどのような活用になりますか。

(副市長)

市のホームページを補完するだけでなく、物産や一本松の保存基金などを Facebook で行うということで、いろいろなことを facebook を使ってやろうと考えています。

(企画部長)

そのほか、全般に関わる問題でもかまいません。

(記者)

一本松を切った上で防腐処理ということですが、それについての市長のお考えを聞かせてください。

(市長)

一本松が枯死しているということですが、あれを立てたまま、防腐処理することは至難の業だということを聞いています。切って倒して、防腐処理ということは、今後検討ですが、それは私が決めることではなく、高田松原を守る会などの関係団体と近日中にお話をしたいと思っています。

(記者)

このことについて、メリット、デメリットはあるとお考えですか。

(市長)

木を残すということになると、1回防腐処理をしても、雨ざらしにすると、また腐るということで、また2、3年後にどうするかを考えなければなりませんし、2、3年猶予ができるということで、国営防災メモリアル公園が認められれば、一本松の立っている場所が該当しますので、そこをどう考えていくのか。さしあたっては、防腐処理をして、猶予をいただくなかで、先の話まで、どうしていきたいのかという結論を出したいと思います。

(記者)

市長としては、それがスタートだと思っていらっしゃるということでしょうか、ほかの団体がどういうことをおっしゃっているのでしょうか。

(市長)

一本松は奇跡、希望、悲しみなど、いろいろな要素をもっていると思います。市役所は悲しみの象徴でしょうけれども、一本松はそれぞれの立場でいろいろな見方があるので、いろいろな方に私の思いを話していきたいと思っています。

(記者)

2、3年の猶予期間で、切って防腐処理をして、屋根をかけるということでしょうか。

(市長)

防腐処理をするにあたって、切らなければならないのか、いずれ、どんな形であっても、防腐処理はしなければならないと思っています。

(記者)

高田松原を守る会とのお話は、6月中ということでしょうか。

(市長)

緑化センターによると、梅雨の時期に入り、雨が降ったり、雷が鳴ったりと、心配なこともあり、関係する方々とできるだけ早く結論を出したいと思います。中には企業として、ユースホステルの方もいらっしゃるし、6月は議会もあり私の日程の都合もあります。

(記者)

切らずに防腐処理をするのにどれくらいかかりますか。

(市長)

一本松を切ることによってどれくらいの抵抗があるのか分かりませんが、去年は切るという話はありませんでした。足場を組まなければなりませんので、見積額などを勘案して決めたいと思います。

(記者)

防腐処理は必要だというお考えですか。

(市長)

切っても、切らなくても、防腐処理をしなければならないということです。

(記者)

今月中に話し合いをもつということでしょうか。

(市長)

議会が始まるので、日程も厳しいですが、できるだけ早く話し合いをもちたいと思います。

(記者)

一本松の基金を呼びかけるのは、すぐに始めるのでしょうか。

(副市長)

基金の名前なども決めていませんが、7月には呼びかけを行おうと検討しているところです。

(記者)

ワンクリックで募金を呼び掛けるということですが、一本松はネームバリューがありますので、世界に呼び掛けるということでしょうか。

(副市長)

一本松は国内、世界からも注目を集めていますので、大口の寄附だけ受け付けるのではなく、少額でも、多くの市民からお預かりすると。決済システムにすると、海外からだど振込料がかからない方法、寄附のシステムを合わせて検討しているところです。

(記者)

J Rについて、大船渡市で鉄路復旧が確約されれば、その間、B R Tは受け入れるということでしたが、陸前高田市としては、B R Tを提案されたら、どういう対応をとりますか。

(市長)

鉄路が確約されて、B R Tの提案があれば、それに対して意見を申し上げていくということになります。

(記者)

鉄路の復旧の確約をいただければ、B R Tを受け入れるということでしょうか。

(市長)

被災者の利便性を第一に考えて、対応していくということになります。

(記者)

今日内閣改造があり、復興に関係する閣僚として、国土交通大臣が代わることに対するご意見はありますか。

(市長)

閣僚の交代は致し方ないのかもしれませんが、前大臣も我々の意を酌んでくださって、被災地には重要なポストと認識しております。三陸縦貫道の整備についても我々の意見を理解していただきました。新しい大臣にも、同じように被災地、被災者の立場に立って、仕事をしていただければと思います。

(記者)

内閣改造に対して、復興絡みでご意見はありますか。

(市長)

今回の内閣改造は、政策的意図があって行われているようには思えません。被災地の立場を理解していただいて、復興はスピード感で、我々も反省すべきところはありますが、被災者のニーズに応じて、国、県、我々市町村の連携を深めていければと思っています。

(記者)

消費税増税に関して、現時点で増税はすべきだとお考えですか。

(市長)

消費税増税は大反対です。日本全体の経済が見えない中で、今日あたりの市場をみてもたいへんな状況ですが、被災地で家を建てようとしているところで増税というのは考えら

れません。将来が見通せれば増税ということもあるでしょうけれども、今こうだから一時的に負担をお願いしたいというのであればいいのですが、政策的に説明がないまま、消費増税を行うのは、どうかと思います。

(企画部長)

ほかに質問はございませんか。

<質問なし>

(企画部長)

それでは、これで市長定例記者会見を終わります。ありがとうございました。

(終了 午後2時10分)